

**2024年度
「正会員に対する活動助成」活動報告書**

(ふりがな) 団体名	公益社団法人 岡山県社会福祉士会
---------------	------------------

■活動報告の詳細

活動名称	会員が一同に集う「総会」へのかかわりを強め、会への関わり・運営への関与を高められるようにする
活動の目的	<p>県士会組織を中心に県内社会福祉士の『スキルアップの近道となるつながり』をつくることを目的とする。</p> <p>① アンケート実施：会員（準会員含む）および非会員へのWEBアンケートを実施し、会員に対しては、入会によって得たつながりをあらためて確認するとともに、非会員に対しては入会促進のための手がかりを得るよう努め、それらを通じて新入会の増加ならびに退会を抑制するための方策を検討する。</p> <p>② インタビュー調査：入会によって得られたつながりやスキルアップの道筋について、インタビューを実施し、それをツールとして啓発活動を行い、新入会員増や会員の活動量の増加につなげていく。</p> <p>③ 総会システム構築：定時社員総会で、県内の社会福祉士が一同に集い、リアルな交流や情報交換を行うことでつながりを増やすとともに、会運営に関わりやすくするための電子申込システムの構築を行う。</p>

<p>実施した活動の内容</p> <p>会議・研修会・イベント等の開催日時、場所、参加者数等の活動内容の詳細を記入 ※別添（様式自由）にて提出可</p>	<p>① アンケート調査</p> <p>1 目的（何を実現する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人岡山県社会福祉士会では、2024年度「正会員に対する活動助成（組織率向上に関する助成）」を活用し、県士会組織を中心に県内社会福祉士の『スキルアップの近道となるつながり』をつくることを目指している。 ・本アンケート調査では、県内の社会福祉士（会員、非会員、未来会員）を対象に、会への参加意向、取り組みに対する評価、今後の活動意向等を把握し、今後の取り組み検討の基礎資料を得ることを目的とする。 <p>2 背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当会会員同士がどのようなスキルを持っているか見えにくい現状がある ・当会会員同士のつながりづくりの情報やその仕組みづくりが必要。 <p>3 目標（いつまでに何をする）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月…WEBアンケート実施概要の作成 ・1月中旬…アンケートフォームの作成→2月よりアンケート開始 ・2月末を締め切りとする ・3月中…集計・分析を行う <p>4 効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当会の情報をSNS等活用し、非会員、未来会員らとの接点を増やす ・「やってみたい」ことを会としてプロデュースし実現する場として、会の位置づけを充実させる <p>5 手段（どういう方法で行う）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内社会福祉士（非会員）向けWEBアンケート <p>県内社会福祉士に、県士会会員からの声掛けによってアンケートを実施する。会への加入を強制するものではないが、社会福祉士の地位向上や自己研鑽・交流の機会創出のための接点づくりの可能性をさぐるための意見を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは基盤系列が主担当となり、アンケートの集計・分析はエブリプラン社と協働する。 <p>◎実施内容</p> <p>1 打合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/17、3/13 内部およびエブリプランと打合せを実施。 <p>2 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【調査期間】 令和7年2月1日～2月28日 ・【調査方法】Webアンケート調査 <p>会報誌（2月号）に調査依頼文、webアンケートへ誘導するQRコードを掲載するほか、事務局からのメール配信、委員会での個別呼びかけを通じて協力を依頼した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【調査対象】 正会員：714 未来会員：60 非会員 ・【回収数】 87名
---	--

実施した活動の内容

② インタビュー調査

1 目的（何を実現する）

岡山県社会福祉士会の未会員へ「スキルアップの近道となる」「つながりづくりがここにある」ことを当会として発信することができる

2 背景

- ・当会会員同士がどのようなスキルを持っているか見えにくい現状がある
- ・当会会員同士のつながりづくりの情報やその仕組みづくりが必要

3 目標（いつまでに何をする）

- ・当会の活動に興味関心を持ってもらい、未会員・正会員と関われる機会をオンライン・リアル問わず作る
- ・総会・SNS などを通じて、未会員 1000 人へ情報発信できる仕組みを構築する

4 効果

- ・当会の情報を SNS 等活用し、未会員らとの接点を増やす
- ・「やってみたい」ことを会としてプロデュースし実現する場として、会の位置づけを充実させる

5 手段（どういう方法で行う）

- ・「つながり・スキルアップ企画」の掲載
- ・「スキルアップにつながった」、「自分の仕事に役に立った」など、会へ入会してよかったことを正会員にインタビュー・座談会を実施する。
- ・広報委員会で「インタビューのやり方を学ぶ」研修会開催

◎実施内容

1 打合せ

- ・1/22、1/28 MYTURN 田中氏、河野氏と打合せを実施。

2 実施内容

- ・下記対象者へ実施者が対面によりインタビューを実施。

①神原夏月氏（高梁地区会、基礎研 I・SA 研受講中）2/10 実施

②矢代一善氏（美作ブロック地区会（西粟倉村））2/12 実施

③伊藤清郁氏（リーガル SW 委員会）2/13 実施

④小川祥希氏（障害者権利擁護センター）2/27 実施

⑤木村智恵氏（東備地区会、生涯研修センター、第三者評価）2/10 実施

<インタビュー実施者>河野愛氏（MYTURN）

③ 総会システム構築

1 目的（何を実現する）

- ・総会に多くの人が集い、会の運営に関心を持ってもらい会の活性化へとつなげていく

- ・総会に参加できない場合もその意思をしっかりと表示できるようにする

2 背景

- ・総会への参加者が少数であること、欠席の場合書面で委任のみである

3 目標（いつまでに何をする）

- ・2024 年度内に総会システムを構築、2025 年度からの実施を目指す

4 効果

- ・総会参加者数の増、そこでのつながりの増、会運営への参画増
- ・欠席の場合でも、委任ではなく、採決と意思表示ができるようになる

5 手段（どういう方法で行う）

- ・総会システムについて協議を行い、キントーンを導入したうえで、小さな拠点ネットワーク社の協力を得て、システム構築を行う

II. 実施内容

1 打合せ

- ・2024 年 12 月 24 日、2025 年 1 月 24 日・3 月 26 日

2 実施内容

- ・システム構築のための協議
- ・キントーンの利用についての講義演習
- ・システム構築の実施

【打ち合わせ・講義演習・システム構築】

担当者：小さな拠点ネットワーク 檜谷氏

活動の成果

① アンケート調査

○社会福祉士会の活動に対する満足度に関して、「委員会への参加」「地区会への参加」をしている方の満足度が高い結果が示された。年代別×委員会所属の結果より、5年未満の会員は委員会に「興味はあるが所属していない」が41.2%と多く存在するため、委員会の内容の周知を拡大することやより身近な地区会などの参加から委員会への所属を進める工夫をしていく必要がある。

○入会しない理由として、「会費が高い」が最も多かったが、会費に見合う活動や会員の満足度をあげる内容を検討していくことが必要と考えられる。

○会報誌についてメールでの配信に多く回答があったが、30%程度の紙面も希望することが示されたため、段階的な移行やハイブリット（希望者）などの工夫が必要である。

○社会福祉士会主催の研修は半数以上が満足しているが、県北での開催、駐車場のある会場での開催など工夫する必要性が示された。

※詳細は別添資料の通り 【資料1】

② インタビュー調査

○インタビューを受けた当会正会員から「入会したことで自身の知識が深まった。」「自身の人的ネットワークが広がった」など、自身のスキルアップやつながりづくりの現状などが示され、当会へ入会することで得られた利点・メリットの可視化ができた。また未会員に向けたメッセージでは、入会促進に資する意見を得ることができた。

※詳細は別添資料の通り 【資料2】

③ 総会システム構築

○キントーンを導入し、総会システムが構築された。このことによって、総会実施についての情報発信がメール等でも行うことができるようになり、出欠表明および意思表示が電磁的に行うことができるようになった。

○また、キントーンの活用方法について学ぶことができたことによって、総会以外の事柄についても、さまざまな活用を行うことができるようになった。

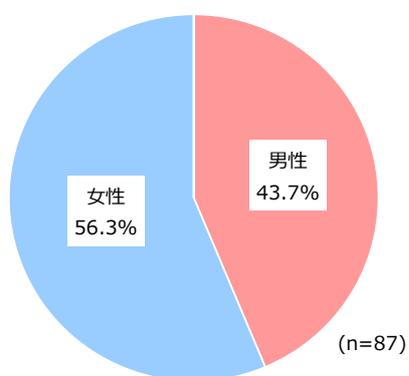
※詳細は別添資料の通り 【資料3】

岡山県社会福祉士会アンケート

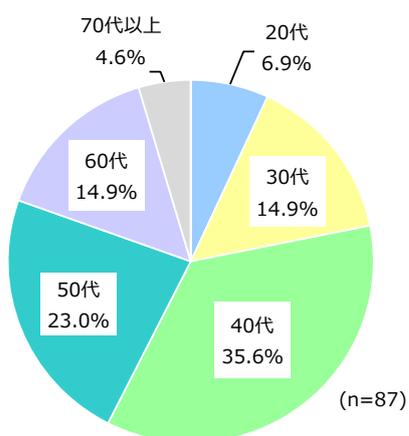
調査結果報告書

1. あなた自身についてお聞きします

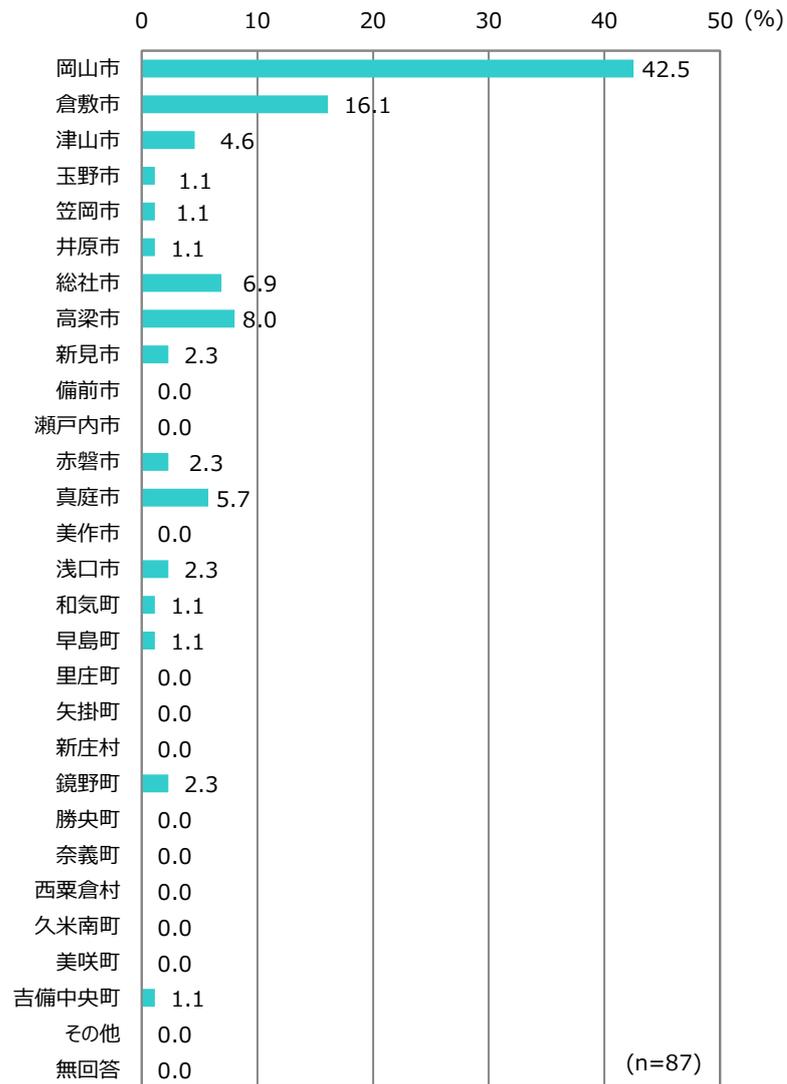
(1) 性別 (いずれか一つ)



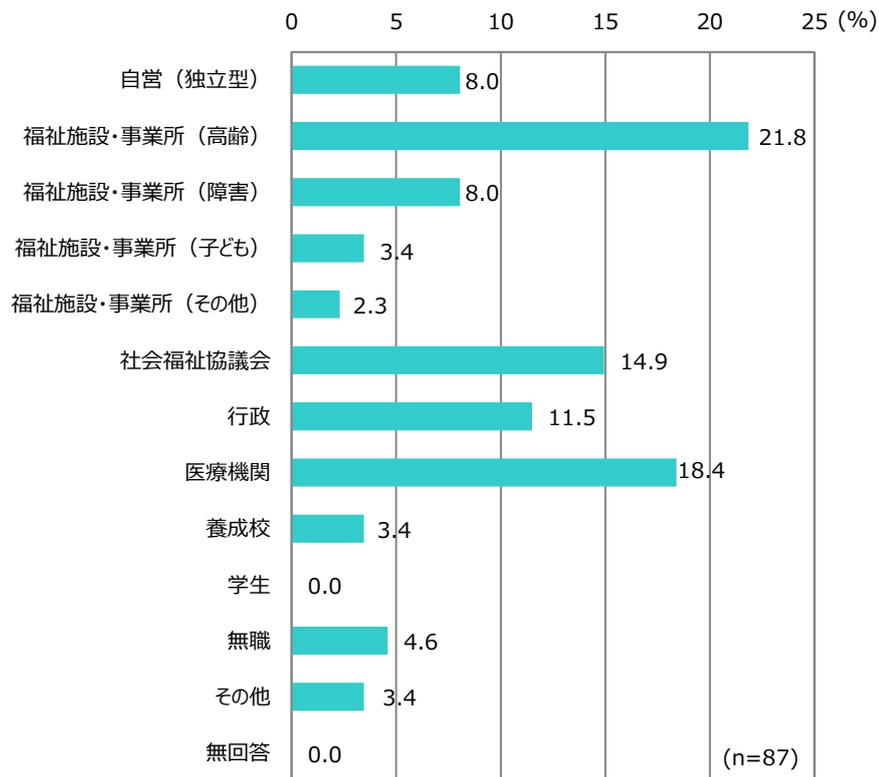
(2) 年齢 (いずれか一つ)



(3) ご住所 (いずれか一つ)

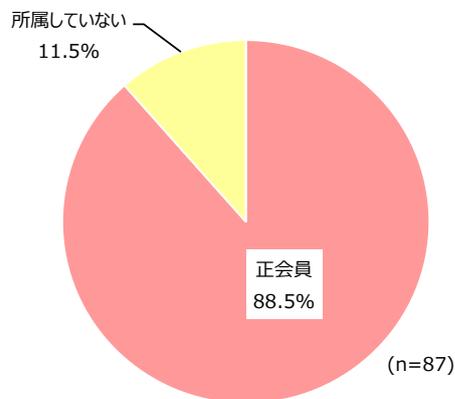


(4) ご職業 (いずれか一つ)



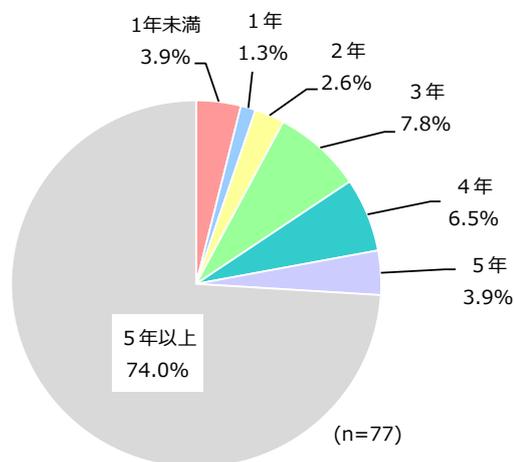
その他	
農業	一般社団法人
司法関係	

(5) 社会福祉士会への所属 (いずれか一つ)

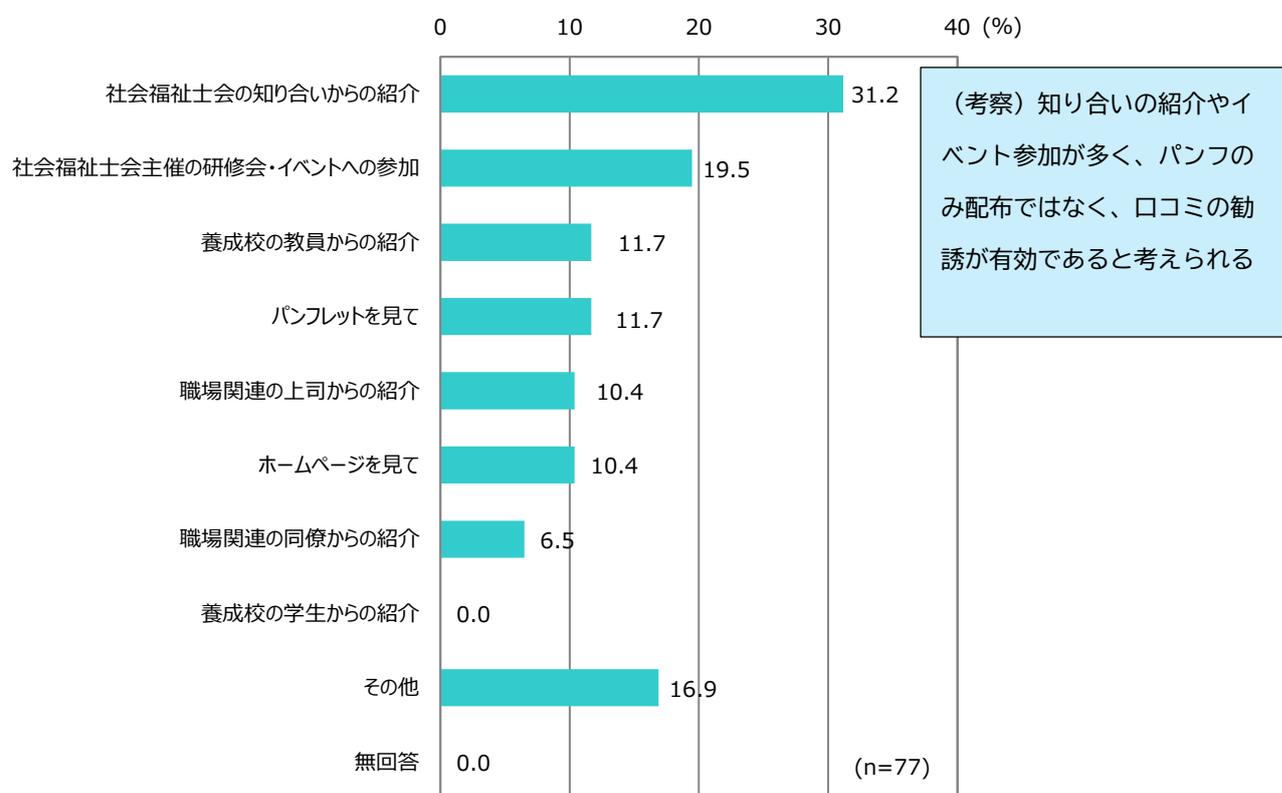


2. 社会福祉士会へ所属されている方にお聞きます

(1) 社会福祉士会への所属年数をお教えてください (いずれか一つ)

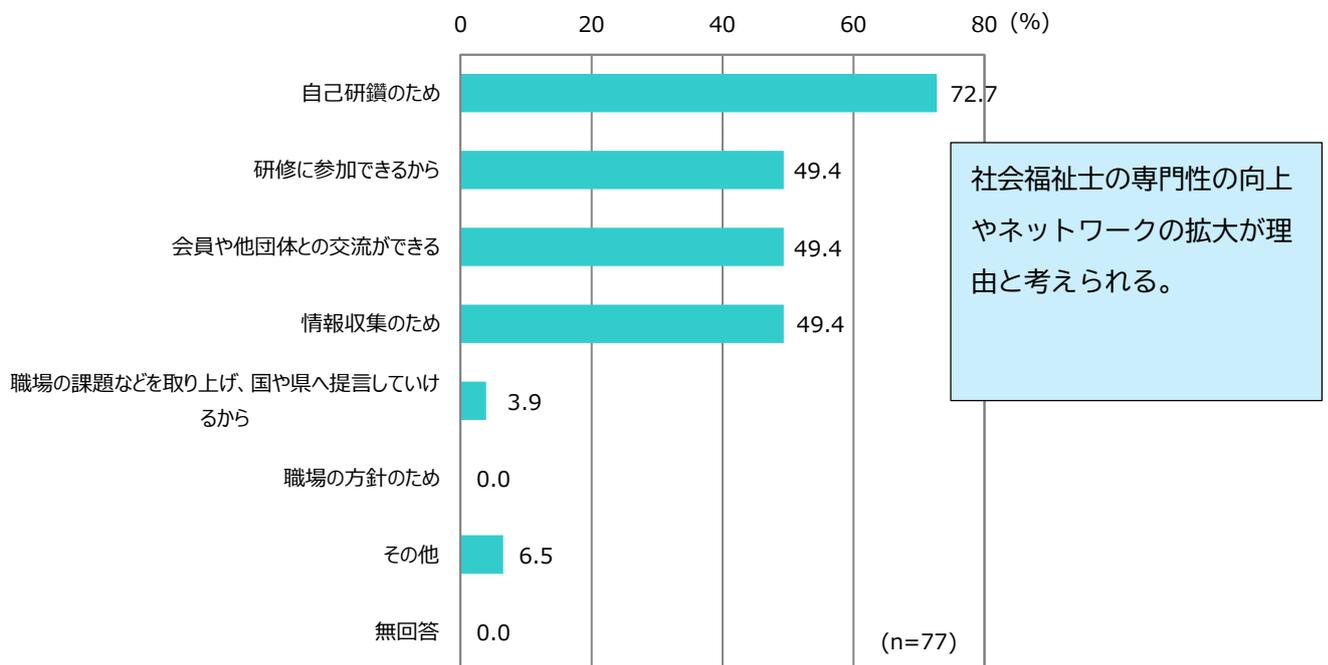


(2) 社会福祉士会への入会のきっかけをお教えてください (該当するものすべて)



その他	
社会福祉士に合格した際に職能団体があると知った・案内を見て (5)	
社会福祉士になったら入るものだと思っていた(3)	
他府県からの異動	以前から知っていたがきっかけは転職。
業務で一人職場だったので、必要性を感じて	つながりを作りたいかったので

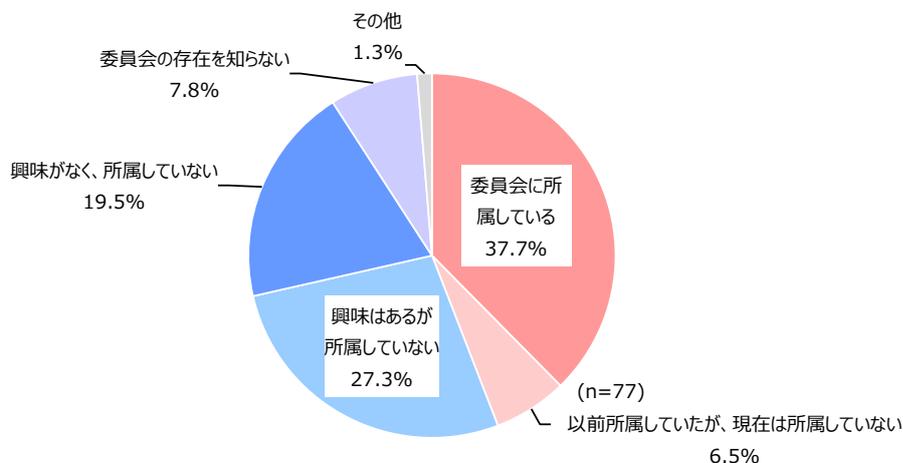
(3) 社会福祉士会へ入会した理由をお教えてください (該当するものすべて)



その他	
他の士業さんのように、資格を取ったら入会しなければならないと思っていたから。勘違い。	
国家試験に合格したら、必ず入会するものと思っていました。	
社会福祉士の地位向上のため	役立つことがあると思ったから。
災害支援派遣活動に参加できるから。	

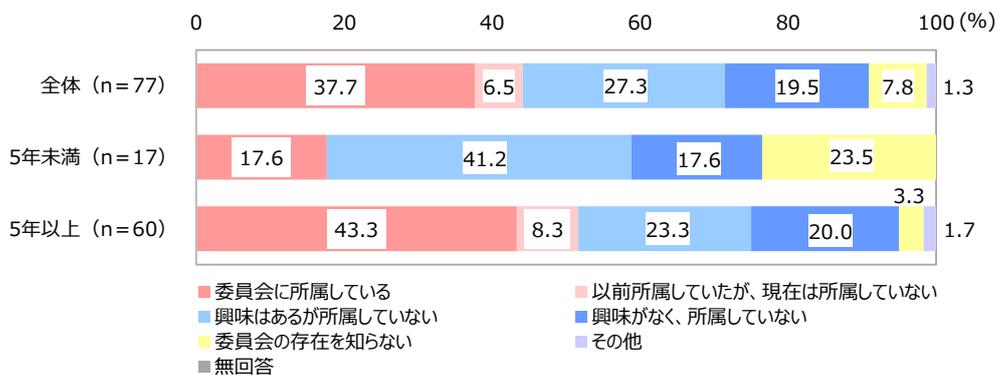
「社会福祉士合格＝入会」が必要になる会運営意識づくり、社会への働きかけが今後必要と考えられる。

(4) 委員会活動に参加していますか？（いずれか一つ）



その他
時間の余裕がない

■委員会活動×社会福祉士会への所属年数別 クロス集計



5年未満が17.6%、5年以上が43.3%と年数が短い会員の委員会活動の参加に差がみられる。現在の委員会は事業型の委員会が多く、興味がなく所属していない会員（5年未満・5年以上）や興味あるが所属していない会員（5年未満・5年以上）がおおよそ50%いるため、より参加しやすく、会員にとっても有益な委員会運営になるべく再検討していく必要があると思われる。

(4) - 1. (4) で「興味はあるが所属していない」とお答えした方にお聞きします。

理由をお教えてください。(自由記述)

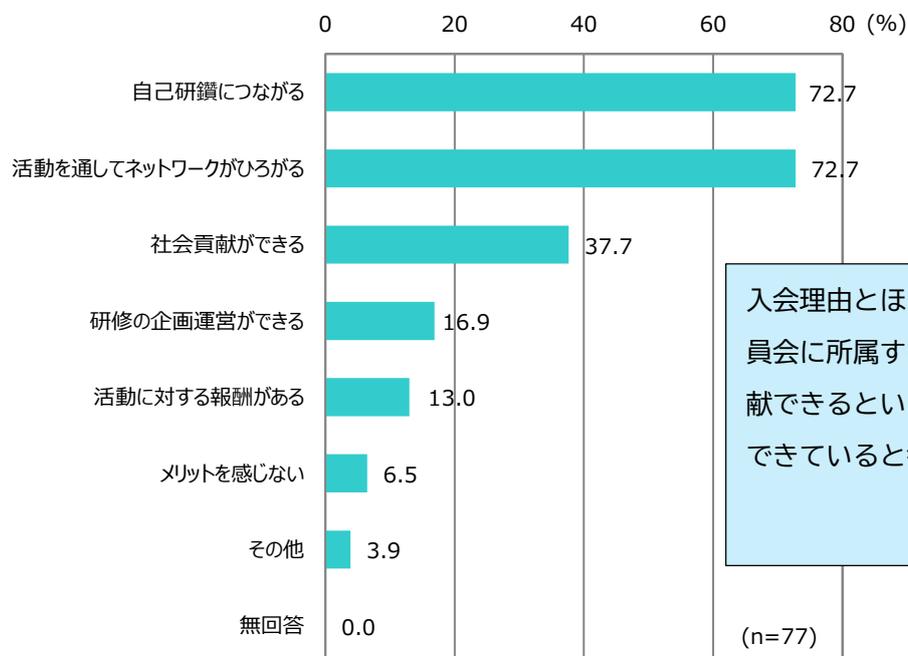
回答	
委員会活動ができる時間や余裕がないため。(11)	
委員会の内容がわからない。知り合いがいないので情報が入らない。(3)	
今直接福祉の仕事をしていない	体調が安定しない
新しい仕事を始めたので。	能力不足

(4) - 2. (4) で「興味がなく、所属していない」とお答えした方にお聞きします。

どのような委員会があれば所属したいと思いますか。お考えをお教えてください。(自由記述)

回答	
特になし・思いつかない (5)	ICT 活用推進委員会

(5) 委員会活動をするメリットはどのようなことだと思いますか？ (該当するものすべて)



その他
わからない (2)
高い会費を払っているのだから、何かをやらなくてもいいから。

P

A

G

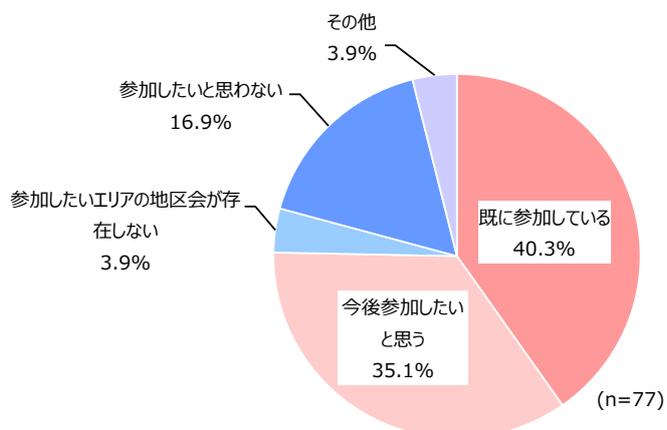
(5) -1. (5) で「メリットを感じない」とお答えした方にお聞きします。そう
お感じの理由をお教えてください。 (自由記述)

回答	
活動内容が一切伝わってこない。勝手にやってる感しかない。	
なんとなく明るさを感じれない	義務のようになりしんどい
負担が大きかったため。	

委員会の活動内容の透明性を担保 (例：会報誌での具体的な委員会活動の周知) しながら、委員の
負担軽減も図る必要があると考えられる。

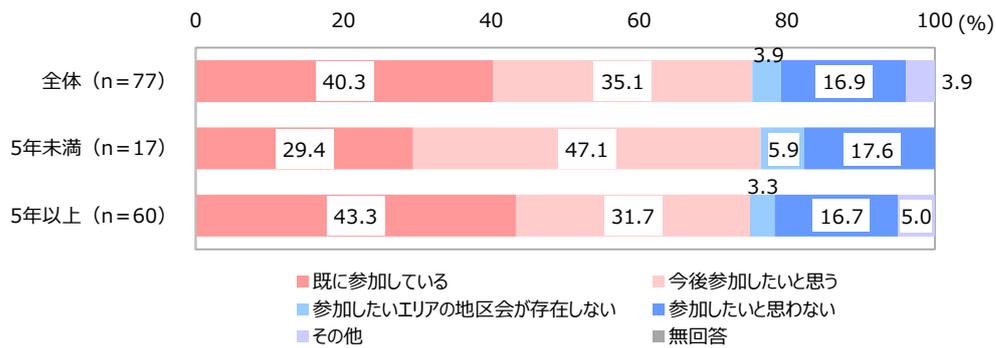
(6) 地区会への参加についてお答えください (いずれか一つ)

岡山市、倉敷市、玉野市、総社市、高梁市、浅口市、東備 (瀬戸内市・赤
磐市・備前市等)、美作ブロック (津山市・美作市等)



その他
参加できない (2)
倉敷市地区はエリアがひろいので 地区を小さくして欲しい

■地区会×社会福祉士会への所属年数別 クロス集計



委員会活動への参加に比べ、5年未満の会員の地区会への参加割合が高いため、社会福祉士会での活動の最初のきっかけとして地区会への所属を推奨していくことが有効であると考えます。年数問わず、今後参加したいと思う会員の割合が高いため、地区会の周知と県内の地区会体制整備が必須である。

(7) - 1. (7)で「参加したいエリアの地区会が存在しない」とお答えした方にお聞きします。どのエリアの地区会があれば参加したいですか。(自由記述)

回答	
新見エリア(ただし、新見ではすでに社福の集まりがあるので難しいかも…)	
井笠地域	倉敷

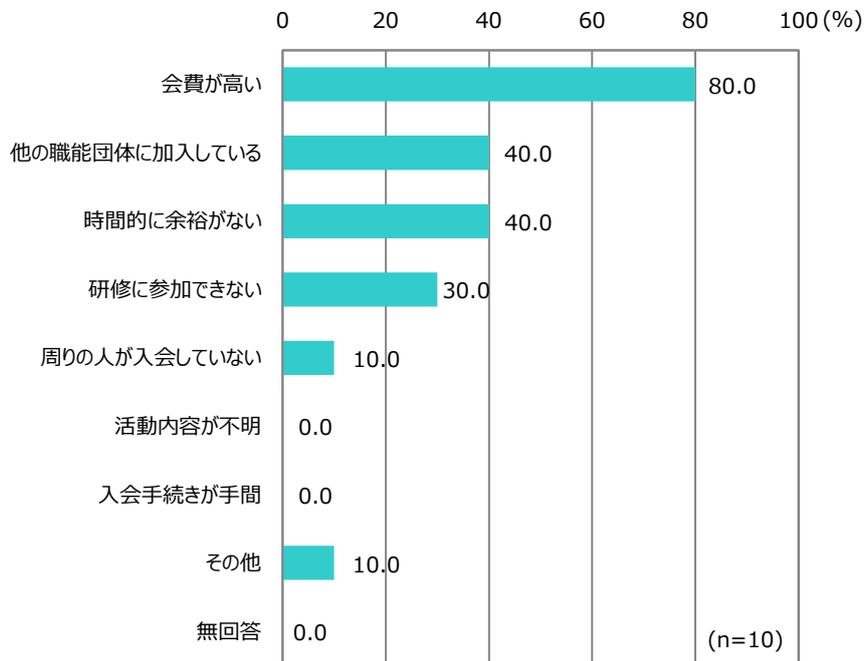
(7) - 2. (6)で「参加したいと思わない」とお答えした方にお聞きします。そのお感じの理由をお教えてください。(自由記述)

回答	
必要性を感じない (2)	気軽に参加しにくいから (2)
今福祉の仕事をしていない	夜なので体調が安定せず参加が難しい
仕事やプライベートで時間が取れない	そういった会への参加が苦手なため
ただの仲良しグループの集まりという雰囲気。いつどこで何をされているのか全然わからない。	
県社会福祉士会の活動に参加すればいいと思うため	
別の研修に参加した方が有意義だと感じるため	

気軽に参加できる地区会であることの発信を進めていく必要性が考えられる。

3. 社会福祉士会へ所属していない方へお聞きします

(1) 入会しない理由をお教えてください。(該当するものすべて)



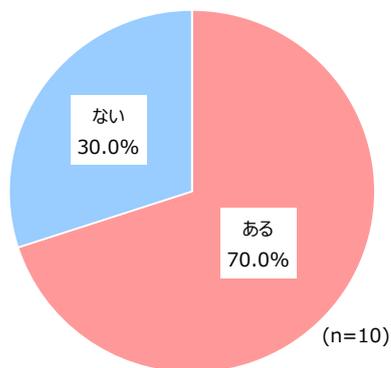
その他
これまで社会福祉士としての業務をしてない期間があったため

会費に見合う活動や会員の満足度をあげる内容を検討していくことが必要と考えられる。

(2) どのようなメリットがあれば入会したいと思いますか？ (自由記述)

回答
社会福祉士の給与自体が低いので、会費が高くて入会を迷ってしまう
会費が低額であること、研修にアクセスしやすい

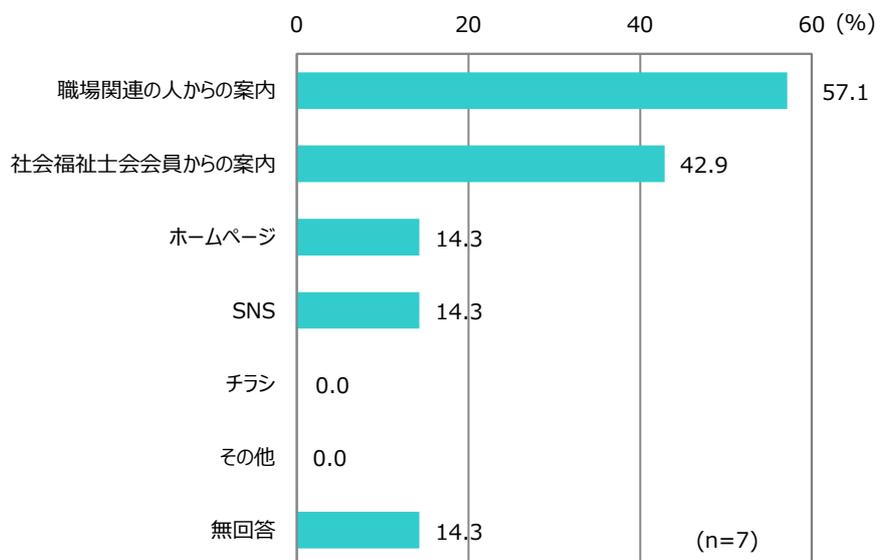
(3) 社会福祉会主催の研修に参加したことはありますか？



(3) -1. (3) で「ある」と回答した方にお聞きします。研修内容をお教えてください。(自由記述)

回答	
成年後見制度について (2)	実習指導者講習会 (2)

(3) -2. (3) で「ある」と回答した方にお聞きします。どのようにして研修情報を知ったか教えてください。



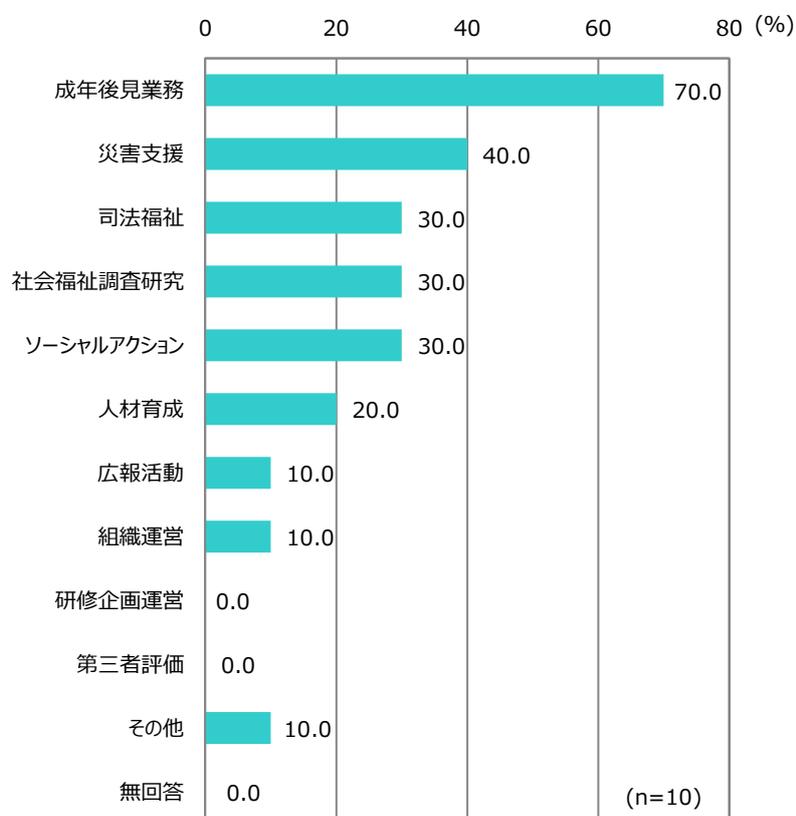
(3) -3. (3) で「ある」と回答した方にお聞きします。その研修に参加した理由・感想をお教えてください。(自由記述)

回答
色々な職種の方から話を聞いて良かったですが、もう少し実用的な事例等が聞けたら良かったです。
タイミングよく受けたい研修があった為
実習指導をゆくゆくは行っていく必要があるから

(3) -4. (3) で「ない」と回答した方にお聞きします。参加されない理由や希望する研修テーマがあればお教えてください。(自由記述)

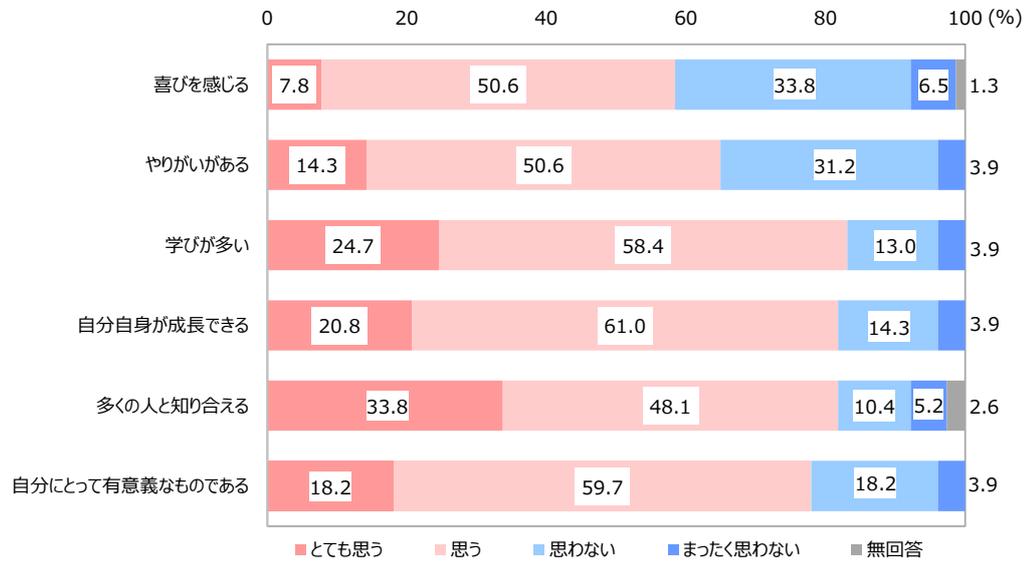
回答
都合が合わない

(4) 以下の活動に興味はありますか？(該当するものすべて)



4. 社会福祉士会の活動について満足度をお聞きします

(1) 社会福祉士会の活動についてのお考えをお教えてください。(いずれか一つ)



<修正案> 満足度全体を→T検定へ

[満足度について]

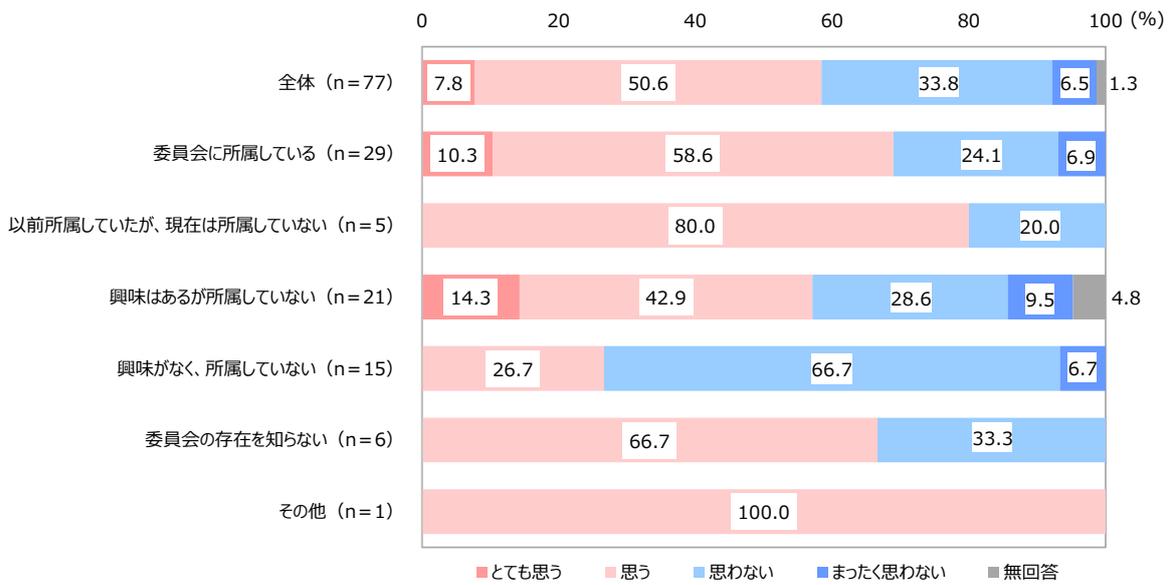
■社会福祉士会の活動の満足度×委員会活動別 クロス集計

■社会福祉士会の活動の満足度×地区会活動別 クロス集計

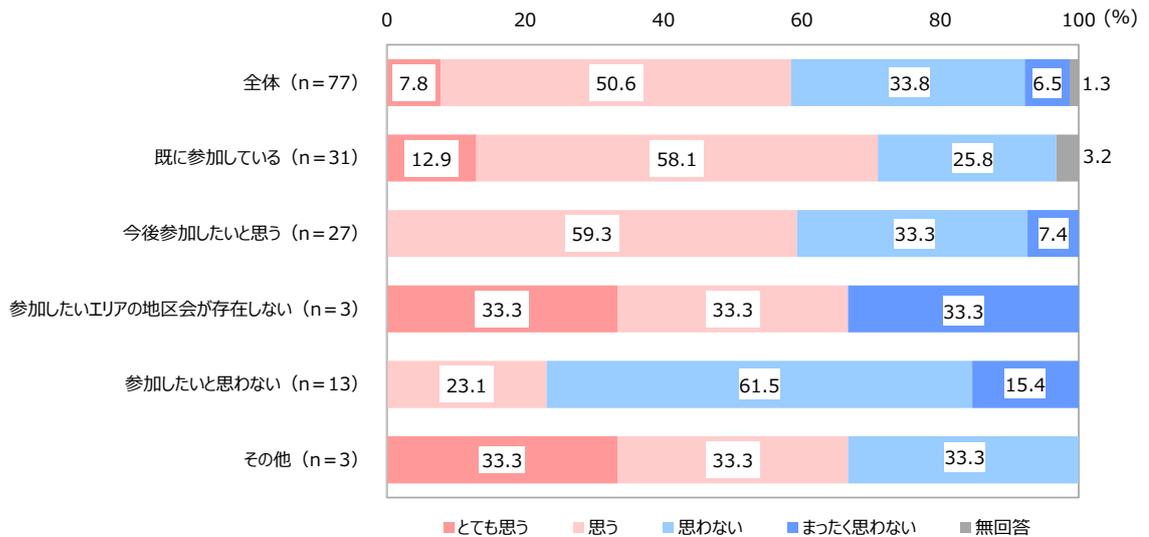
以下、個別のクロス集計は削除 P14~P19

【喜びを感じる】

■社会福祉士会の活動の喜び×委員会活動別 クロス集計



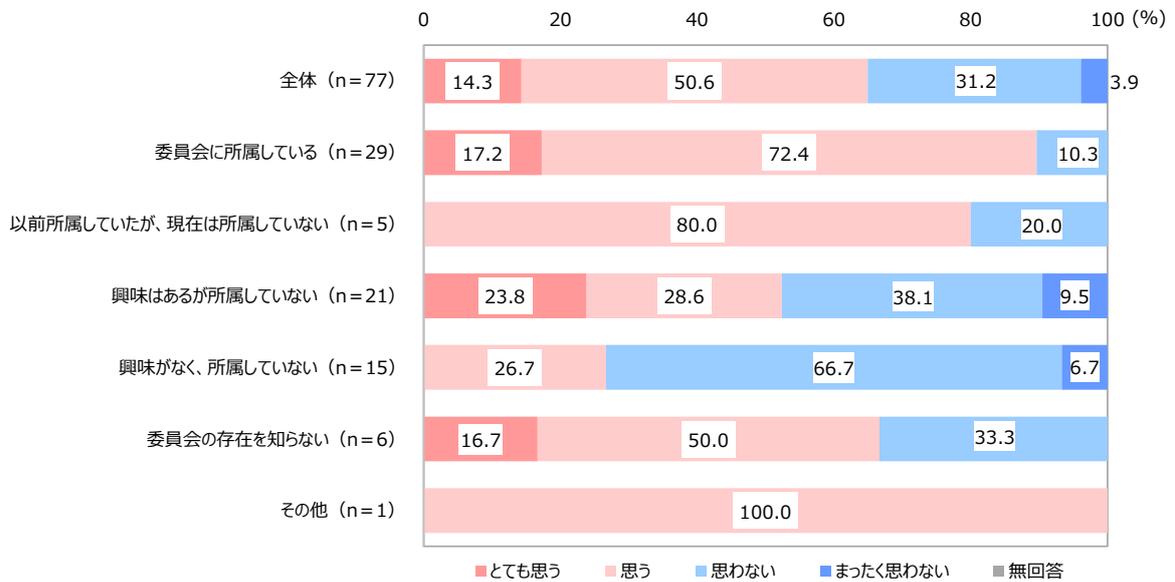
■社会福祉士会の活動の喜び×地区会活動別 クロス集計



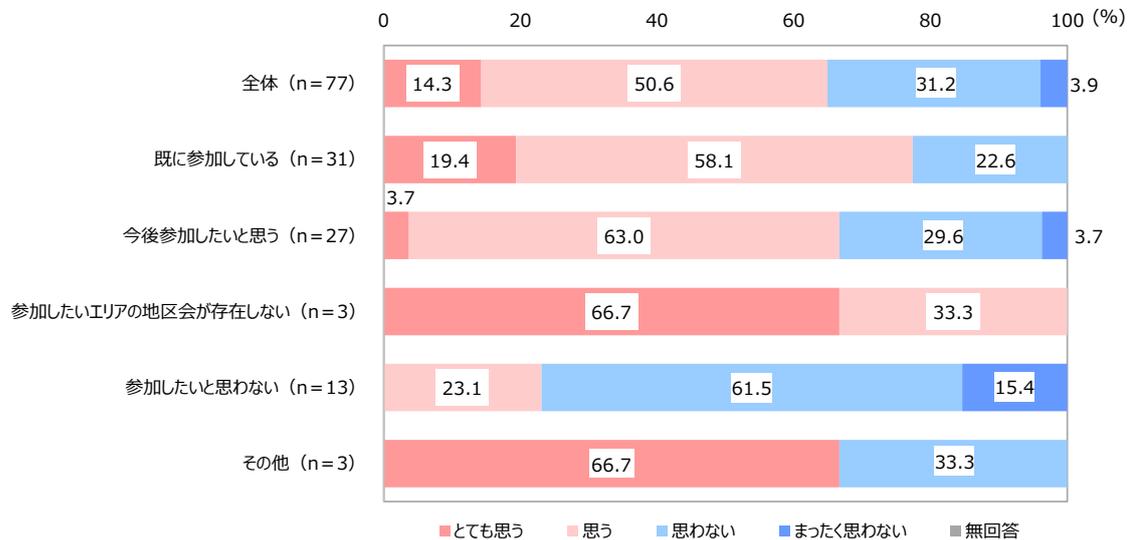
社会福祉士会の委員会に所属している人で喜びを感じている人は、68.9%で高い割合だった。地区会に参加している人は、71%で高い割合だった。つまり、委員会や地区会に参加する人の方がしない人より満足度の割合が高いと考えられる。

【やりがいがある】

■社会福祉士会の活動のやりがい×委員会活動別 クロス集計



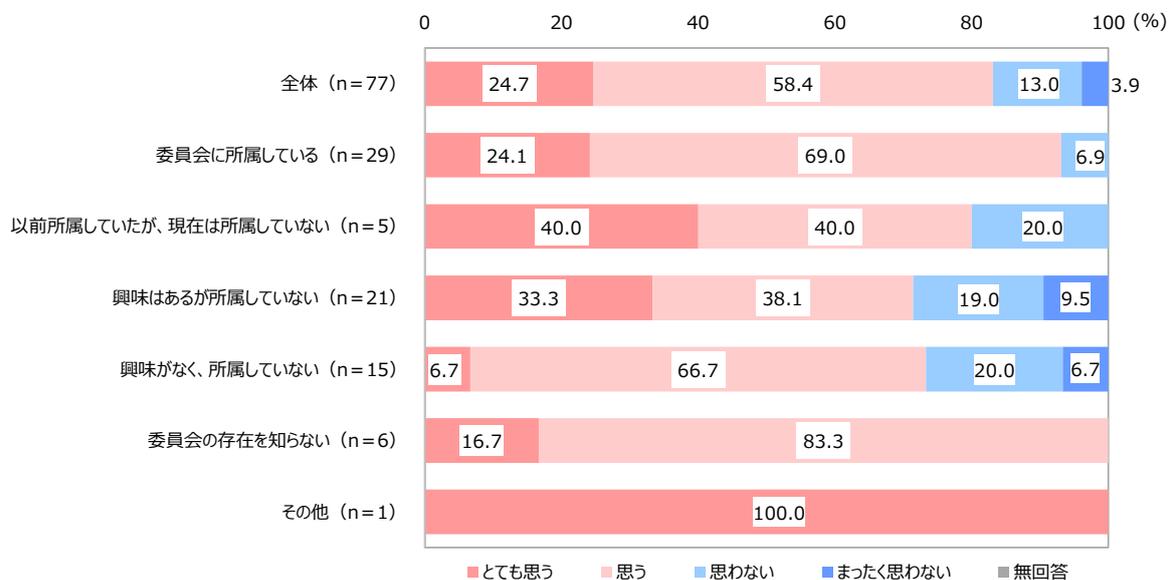
■社会福祉士会の活動のやりがい×地区会活動別 クロス集計



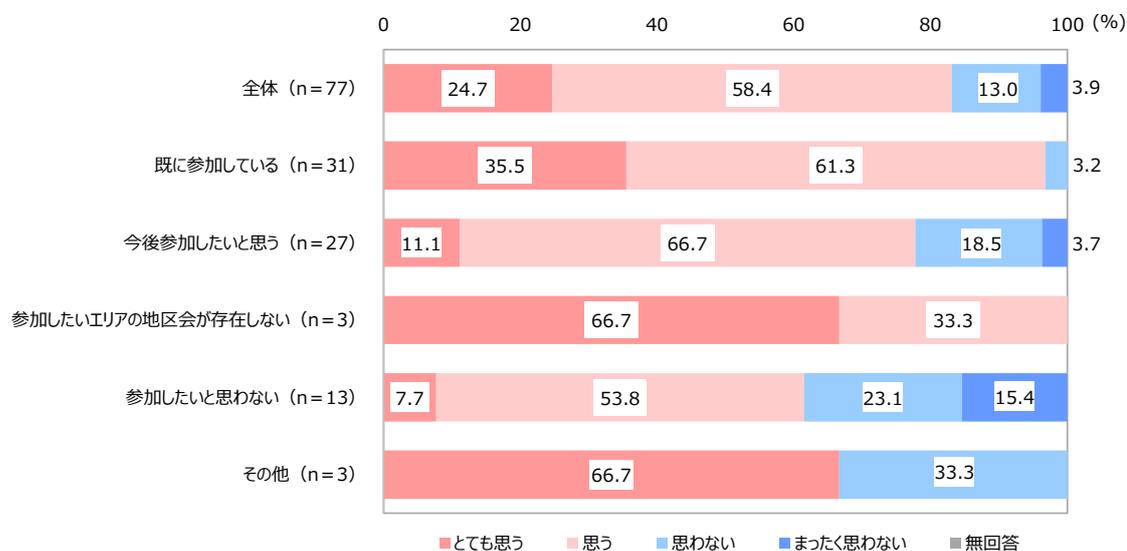
社会福祉士会の委員会に所属している人でやりがいを感じている人は、89.6%で高い割合だった。
 地区会に参加している人は、77.5%で高い割合だった。
 つまり、委員会や地区会に参加する人の方がしない人よりやりがいを感じる割合が高いと考えられる。

【学びが多い】

■社会福祉士会の活動の学び×委員会活動別 クロス集計



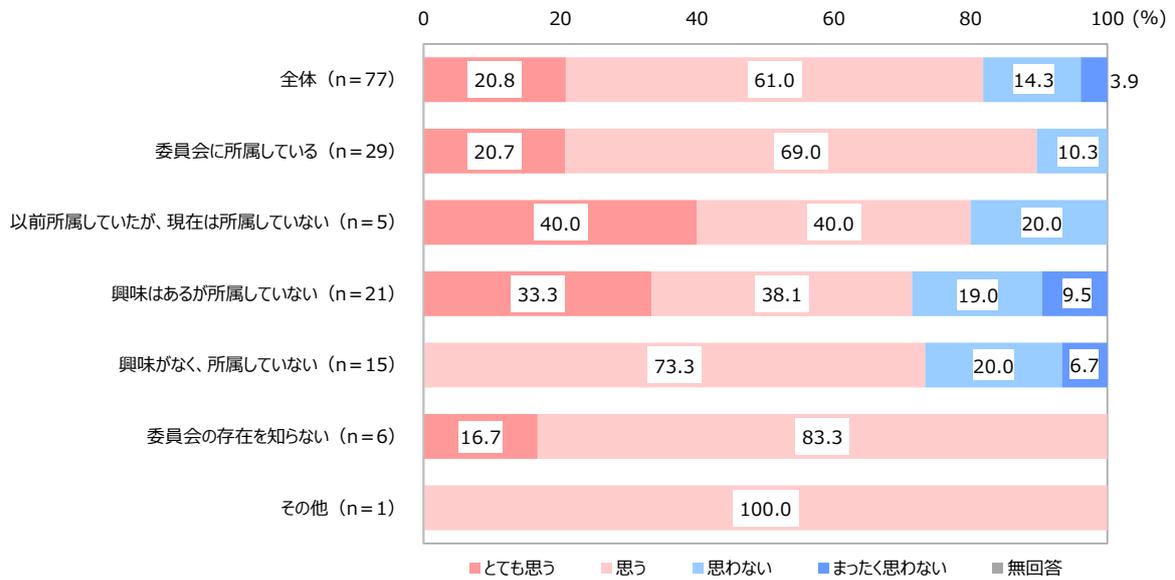
■社会福祉士会の活動の学び×地区会活動別 クロス集計



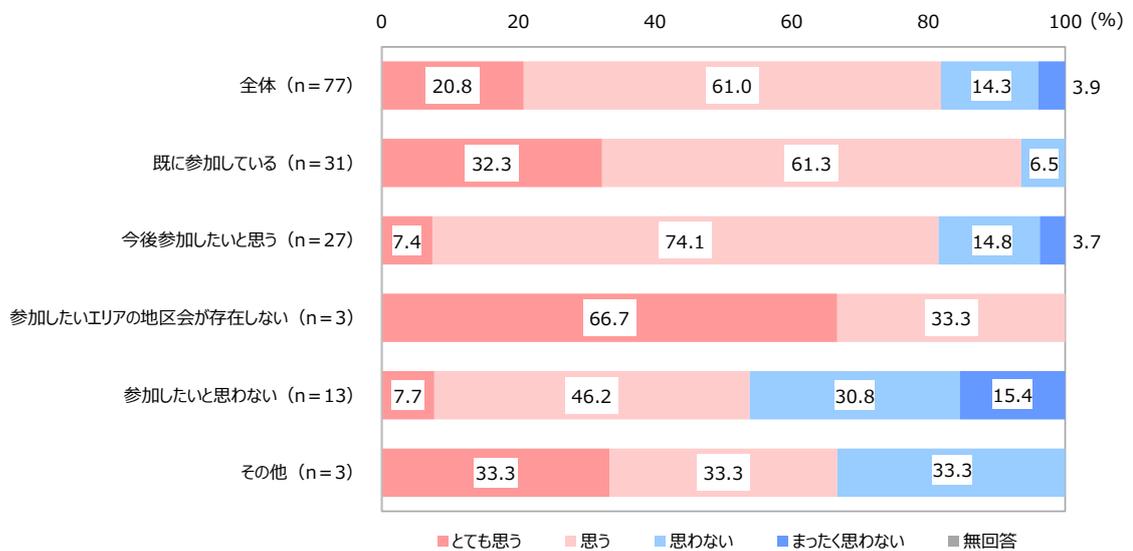
社会福祉士会の委員会に所属している人でやりがいを感じている人は、89.6%で高い割合だった。
 地区会に参加している人は、77.5%で高い割合だった。
 つまり、委員会や地区会に参加する人の方がしない人よりやりがいを感じる割合が高いと考えられる。

【自分自身が成長できる】

■委員会活動別クロス

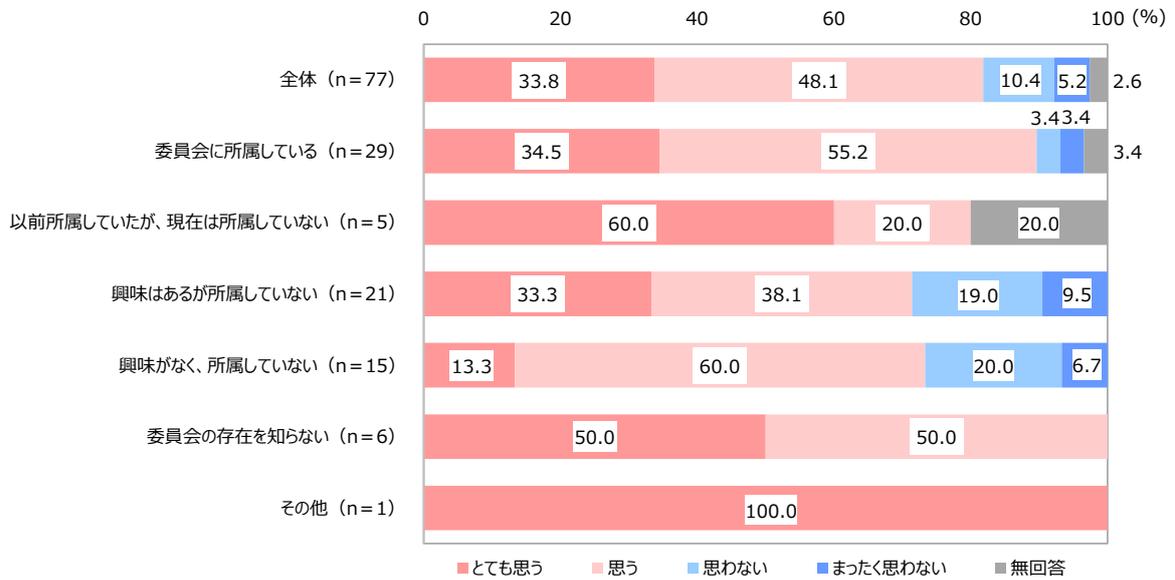


■地区活動別クロス

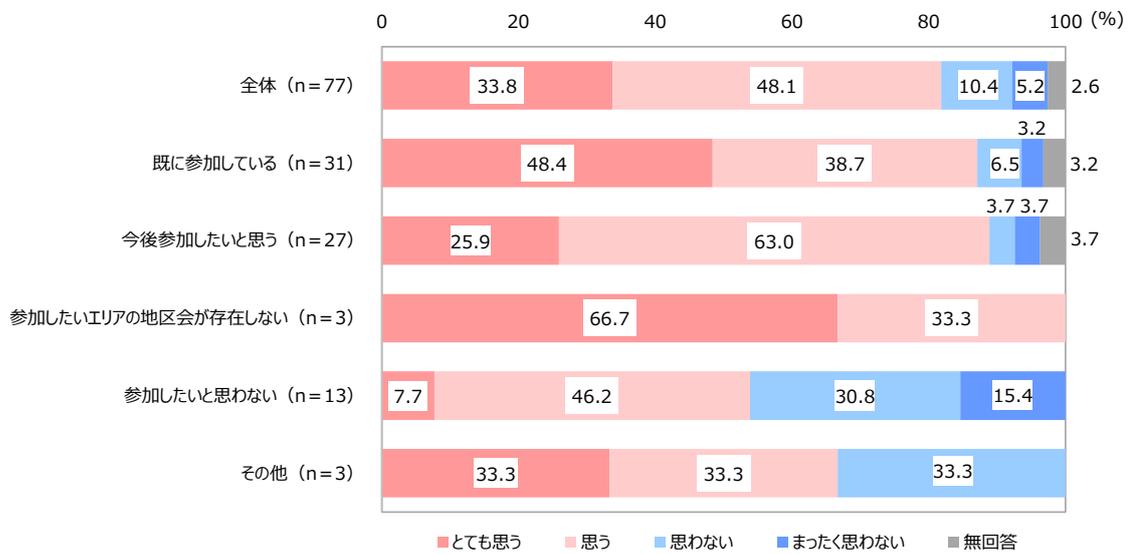


【多くの人と知り合える】

■委員会活動別クロス

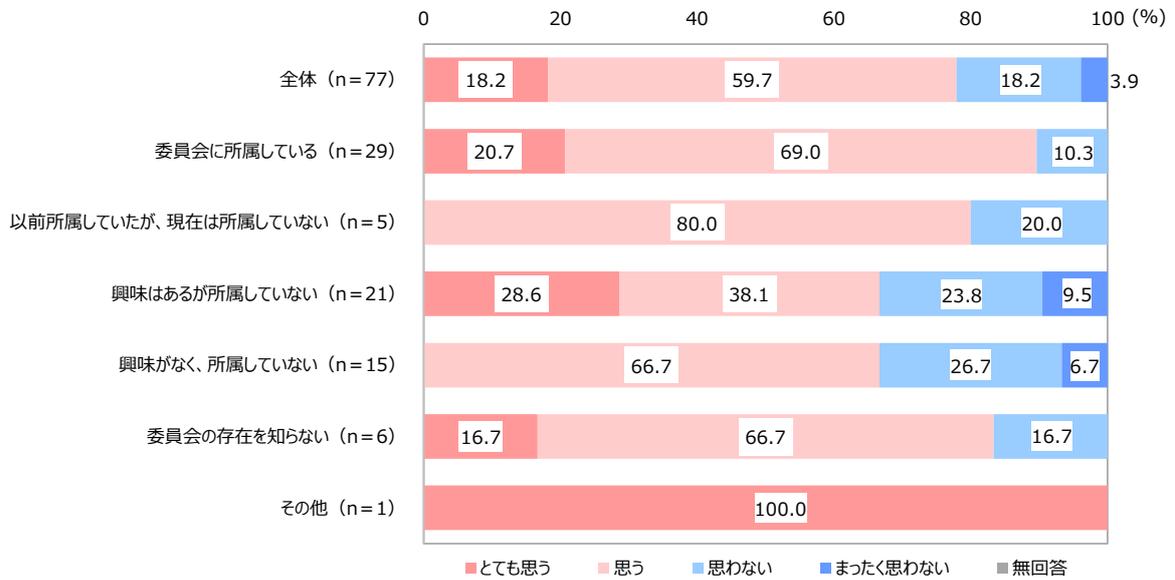


■地区活動別クロス

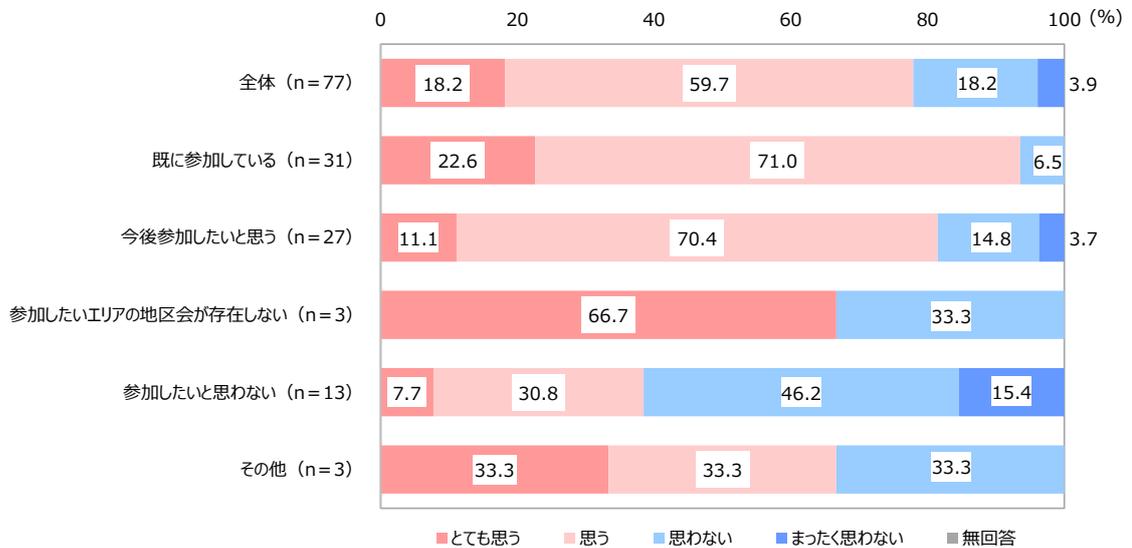


【自分にとって有意義なものである】

■委員会活動別クロス



■地区活動別クロス

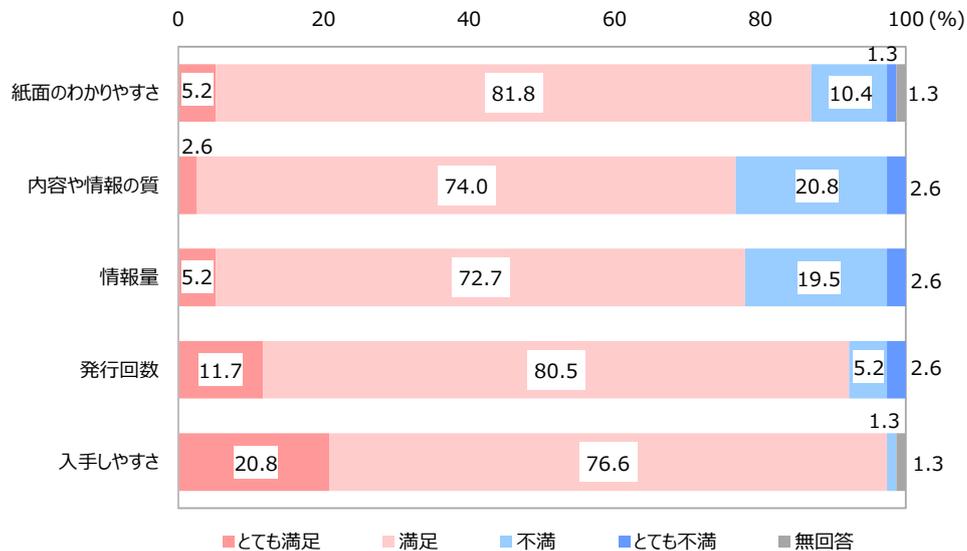


(2) 社会福祉士会の活動をより充実したものとするためにどのような活動があれば良いと思いますか？ (自由記述) **カテゴリー分け**

回答	
より現実的なソーシャルアクション	
ボランティア活動	分野の枠を超えて、いろいろ相談できる会。
楽しみのある交流会や視察研修	交流会 飲み会をして、連帯感を高める
研修成果を発揮出来る場所の創造。	オンライン研修を増やしてもらいたい
年代別・領域別の交流	気軽に相談できる場所づくり
新入会員への入会後のフォロー、全員が委員会活動などに参加できる仕組み、組織のガバナンスの整理、委員会の統廃合、部会等でやりがい活動ができやすくなる仕組み	
関わっている人（利用者や被後見人など）の声を聴く会。意思表示の機会をつくる活動。	
研修を企画して開催することが活動になっているように思います。研修の開催以外の活動（敷居を低く）が必要	
自分の仕事に 精一杯で 会のことにはまでは 参加することが出来ない	
入会希望動機の一つに後見活動（ばあとなあ）があるが、現実には入会から最短で4年を経なければ活動はできません。そこで、ばあとなあ（後見人）の補助者のような形で入会後の早期から活動に関われるような仕組みがあってもいいのではないのでしょうか。	
自分の職務に関係のないことは興味がありません。	
会員限定のSNSの開設（制度情報、イベント情報共有等）	
働く人の心身の健康を守りたいと考えており、メンタルヘルスケアの勉強会を行ってほしいです。	
大学等の教育機関でしっかりと社会福祉士会の活動をアピールしたり 具体的には 基礎研修や 委員会のことを広く周知することが必要だと思う	
仕事の都合や体調の関係で参加できない人もいるので、そんな人でも参加しやすい、敷居の低いもの。	
県北でも集まる機会、研修や懇親会があるといいなと思います	
社会福祉士会の中で、活発に動いている領域に偏りがあるように感じます。高齢や障害など、多くの従事者が働いている領域での取り組みが活発化してほしいと思っています。近年のトピックとしても重要であることは認識していますが、『新しい領域』への取り組みがどうしても目立って見えてしまいます。	
つながる場が必要。会員でない人が、活動を知ることも必要。メリットを知ることも。	
実績が目に見える形になる。社会福祉士としてのスキルが高まる	
県士会全体の研修会では、時間と場所の関係もありなかなか参加しにくいですが、身近な地域で研修会や交流会ができる機会があると良いと思う。地区会の活動が活発になるといいなあと思います。	
研修参加者の意見をフィードバックして欲しい	
「社会福祉士」の仕事や存在を世界に知ってもらおうこと	

5. 社会福祉士会の運営についてお聞きします（正会員用）

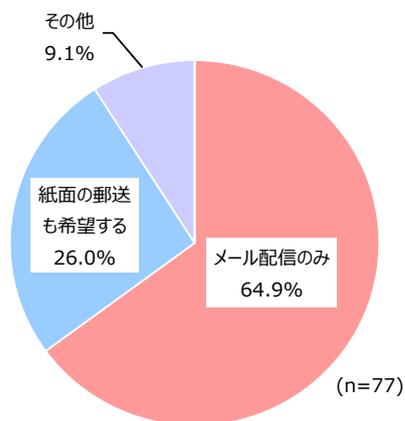
（1）会報誌をどのように感じですか？（いずれか一つ）



（2）会報誌に載せてほしい情報等があればご記入ください。（自由記述）

回答	
特になし・わからない (3)	オススメのイベントや書籍の紹介
高齢者福祉と介護ビジネスについて	基調報告
求人情報	研修の案内。
医療に関する内容。	法律や制度の改正に関するコラム
テーマを決めて詳しい方が解説をする	頑張ってる人の声はとても楽しく見えています。
紙媒体は費用もかかるため電子媒体での配布でよい	
新しい施設の紹介、県外の社会福祉士会の取り組み紹介	
各施設や事業所の利用状況や求人（入所〇人程度募集中！とか、〇〇な人、求む！みたいな）	
今は事務連絡の内容が多いように思います。事務連絡ならメールでも良いように思います。	
法制度（改正）の分かりやすい解説や福祉の時事ネタ。年間テーマ（特集）記事、座談会など	
法律や制度の改正などの最新情報をコラムなどで載せてほしい。	

(3) 会報誌のメール配信を検討しています。どのような媒体を希望しますか？
(いずれか一つ)



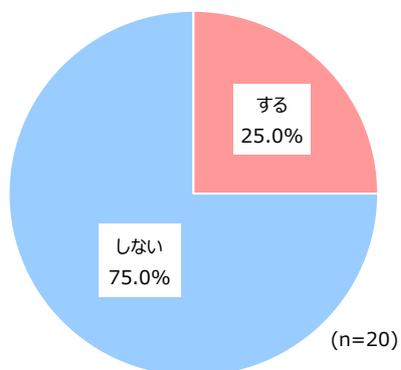
その他	
メールか紙面か選択できると良い (4)	どちらでもよい
事務連絡中心ならメールでもよいのかなと思います。	
ホームページやアプリで閲覧	

■会報誌のメール配信×年齢別 クロス集計

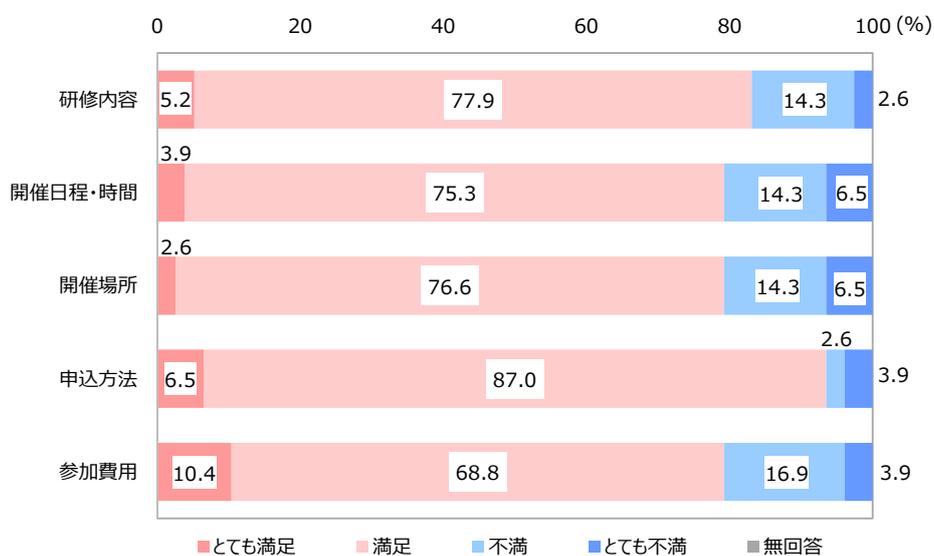


年齢別関係なく、紙面での郵送も希望する人が一定数いることがわかった。

(3) -1. (3) で「紙面の郵送も希望する」と回答した方にお聞きします。
 郵送実費程度をご負担いただく場合でも紙面の郵送を希望されますか。



(4) 社会福祉士会が主催する研修全般についてどのようにお感じですか？（いずれか一つ）



(5) 研修についてのご希望があればご記入ください。(自由記述)

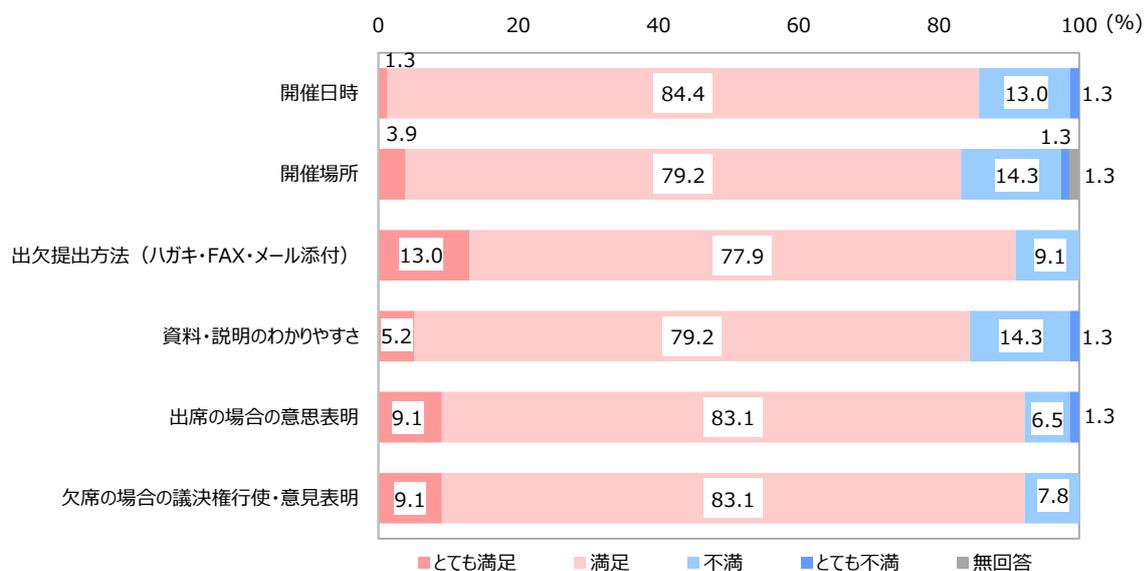
カテゴリー分け

回答	
自己研鑽につながるもの。	制度改正、診療報酬改定
ハイブリッド開催にしてはどうか	後見など専門的な研修
研修時期が、密集する時期がある。	日曜から祝日にして欲しい
包括的支援体制整備について	
基礎研修の講義終了後アンケートを実施してください	
最近、現代社会が抱えている問題を織り込んだテレビドラマや新聞の連載記事がたくさんあるので、それらを糸口にして、結論は出なくてもソーシャルワークについて語り合うのは？ 思いつきですみません	
県北だと、県南に行くのが大変に思うことがある。	
年度末に向けて様々集中している気がしています。年中バランスよく開催してほしい。	
特にありませんが、井手英策さんの公演は惹かれました	
グーグルフォームなどの導入により、申込完了通知や参加者管理などがスムーズに行える仕組みの構築を望みます。	
細かな配慮が足りない気がする。メールの返信が遅いなど。講師の質の向上は必要。	
駐車場を使わせてもらえたらいいと思う。研修の日はいつもガラガラにすいてるから。	
「偶数月の第〇日曜日は研修の日！会場は毎回@@@で開催」といった研修の固定開催	
県のソーシャルワーカー協会にも所属しており全てに現地参加する負担があります、県北からの参加でも、移動も大変、オンライン研修が増えればもっと参加しやすくなります	
研修が岡山市内に偏っている。市外からだ、交通費負担が難しい。また、参加したい研修が皆無。	
きらめきプラザは狭く駐車場が無いので行きにくいです…違う場所で使い勝手のよい会場があればなと思います。	

研修申込方法の統一、簡素化の検討を進める必要がある。

開催方法（オンライン標準化など）の検討を進める必要がある。

(6) 総会についてどのようにお感じですか？（いずれか一つ）



(7) 総会に関し、ご意見等があればご記入ください

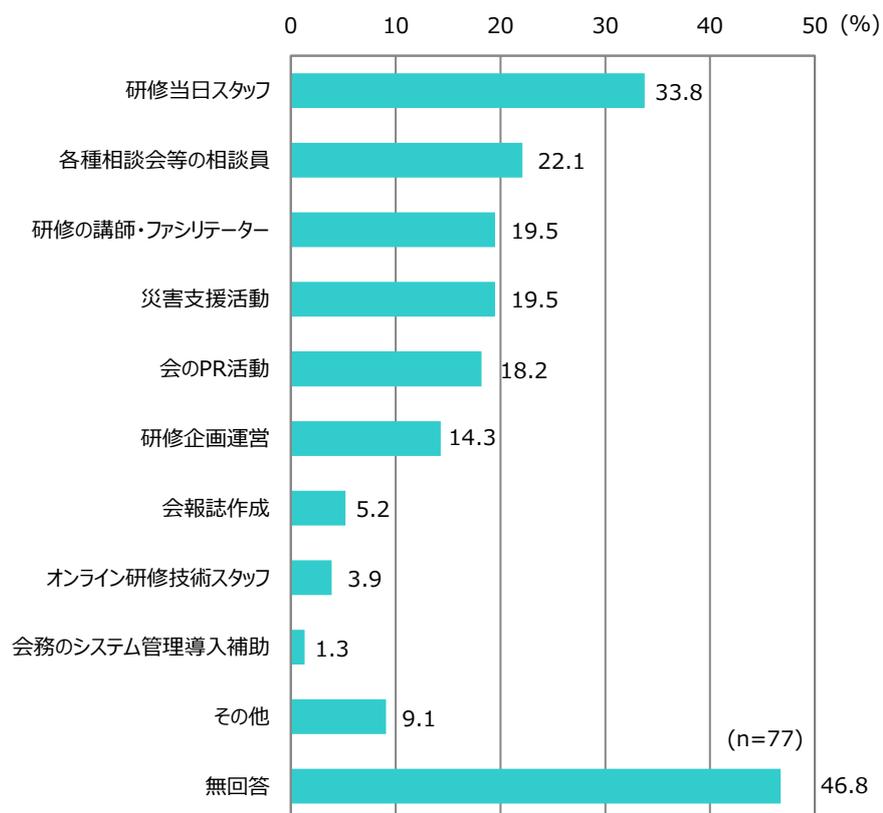
回答	
交通の便の良いところ。	土曜は仕事が抜けられないので行けてません
資料の準備等本当に大変だと思います。お世話になり、ありがとうございます。	
総会の委任状など意思表示できるシステム等の導入をお願いいたします	
会員講師への謝金は不要もしくは減額しては？高額すぎです。オンライン開催でもよい。上の質問、「出席の場合の意思表示」とあるが出席したことないのでわかりません。	
出来れば総会もオンラインで流していただけると視聴だけでも参加できる	
いつも直前に案内が来るため、参加できない。内容を YouTube などで、アーカイブで見れるようにしてほしい。	

総会出欠、議決権行使の方法（システム導入など）の検討を進める必要がある。

- (8) 岡山県社会福祉士会では、理念の策定を行っています。以下の案についてご意見をお聞かせください。（自由記述）
- 「すべての人の尊厳と権利がまもられ、自分らしく生きることができる地域社会をつくる」

回答	
とても良いと思います (11)	わかりやすく、親しみやすいです
「自分らしく生きる」が気になります!	自分らしくとはどういうことか?
そうありたいと思います。	福祉活動の先頭に立つ
作るだけでなく守っていくことも重要では、、、。	
“自分らしく生きる” の捉え方が難しいと感じたので、具体的にイメージできるような例があれば…。	
支える側の観点に寄りすぎて、エンパワメントの要素がやや欠けている印象を受けます。「自分らしく生き、活躍することができる」とか「お互いに支え合える地域社会を」とか、当事者も一緒に輝けるような響きがあるといいなと思いました。	
尊厳と権力を守ることは、自分らしく生きることを意味するので、文章が重複していると思います。どちらかだけにするとスッキリすると思います。	
当たり前のことですが、忘れてはいけないことだと思います。	
漠然としてるなと思いますが、広い概念が含まれて、シンプルでいいと思う。	
未来の人や社会への責任、過去や死者の尊厳を大切にす人や社会の理念を入れたらどうでしょうか?	
理念とはいえ、少し抽象的か。分かったような、分かんような。	

(9) 会の活動で協力可能なことがございますか？ (該当するものすべて)



その他	
具体的な活動内容がわからないので、何ともいえない。(3)	
日時によりご協力できることもあると思います。	
仕事が優先となるためまず活動への参加は無理です	
現在、私用で時間がなく参加しにくい。	あいサポ、第三者評価←実施中

(9) - 1. 会の活動にご協力をお願いできる方へ。差し支えなければお名前をご記入ください。

(省略)

P

A

G

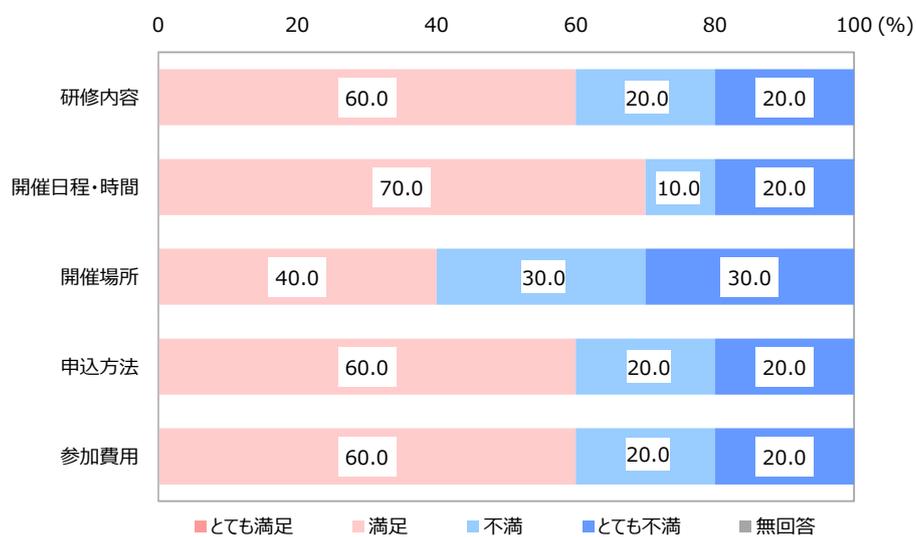
(10) 社会福祉士会全般について、ご意見あれば何でもお書きください。

カテゴリー分け

回答	
より開かれた会の運営に期待します。	組織体質改善。
入っている意味が分からない	60才以上の退職者の会はどうでしょうか？
社会福祉士とかソーシャルワーカーの存在が世間であまり知られていないようです。重要性を担っているのですが、縁の下に隠れ見えてきません。福祉分野外でも、もっとプライドを持って行動してもいいはず。多様なメディアを活用し、必要性や役割がもっと見える化すべきだと思う。	
会費を払うだけでも協力できるかと思ひ会員になっています。活動に参加することが全くできていませんが、時間の余裕ができてきたらお手伝いできたらと思っています。	
理事、委員会役員など一部の会員に負担が偏っています。会員全体で協力し合える仕組みが必要だと思ひます。委員会の統廃合を機会に全会員が何らかの活動に参加できる形で会の持続可能性が高まると思ひます。また入会後のスキルアップとして、基礎研修のみならず、自身の研修修了内容などが見える化できると会員個人の生涯学習につながりやすいのではないかと考えます。日本士会の研修システムと連動する必要があると思ひますが。	
会員を増やし、交流を深めて行きたいと思ひます。	
ホームページがとても見づらいと思ひます。もっと分かりやすい様にしてほしいです。	
有料の職能団体に、私も参加したいと思ひえるようなものが必要です。	
私の職場では、私以外の社会福祉士は社会福祉士会に所属していません。入会していたけど、メリットが感じられなくてやめた人もいます。職能団体としての魅力がPRできたらいいのと思ひます。	
会報誌の内容がおもしろくない。所属することにメリットを感じない。	
会員の一部に業務負担が偏り、それを見て「社会福祉士会の活動＝負担」と考えている会員・非会員が多いと思ひます。「忙しそうだから、これ以上負担になるのはイヤ」ということで会員にはなりたくない、という方を多数見聞きしている。ちなみに私が所属する地区会はコアメンバーが次世代ないし、次の代替候補が見つからず辞めるに辞めれない「万年役員」状態にある。若い世代が「タイパ・コスパ」を重視するので会の活動が「タイパ・コスパ」が著しく悪いと判断すれば、会と距離をとると思ひます。	
毎年、年会費を納めさせてもらっていますが、会報以外では、前記の理由で研修参加も難しいため利点を感じられません	
何となく敷居の高いイメージがある。職場の人などに聞くと、会費の金額が高いから入らない、という声をよく聞く。	
現在子育て中で、十分に研修や活動に参加できておりません。	
会費を納めていても活動できない人（子育て期間や介護している人）に対して、何らかのフォローは難しいのでしょうか。退会以外の選択肢を選ばせてほしいです。	
社会福祉士の年収に合った年会費の設定。特に複数の職能団体に加入している人は複数の年会費を負担できないので、取捨選択を迫られ社会福祉士会脱退、未入会の増加に繋がっているかもしれません。	

6. 社会福祉士会の運営についてお聞きします（会に所属していない方用）

(1) 社会福祉士会が主催する研修全般についてどのように感じですか？（いずれか一つ）



(2) 研修についてのご希望があればご記入ください。(自由記述)

回答
毎回県南での研修は距離もあり参加しづらい。せめて ZOOM 等で遠方からでも参加出来るようにしてほしい。
駐車場が無料で使える研修会場がいい。ズームなどのウェブ研修を利用したい。
研修の情報がどこで公開されているのかがわからない

(3) 最後に。社会福祉士会全般について、ご意見あれば何でもお書きください。

回答
職場の人で会員の人がいるので情報を教えてもらえて助かります。他の団体に加入しているためなかなか複数の団体加入が経済的にも厳しいので加入できておりません。非会員でも研修にも参加させていただけて大変ありがたいです。

岡山県社会福祉士会

総会出欠管理システム

2025年3月28日

一般社団法人小さな拠点ネットワーク研究所

1. キントーンのアプリ構成

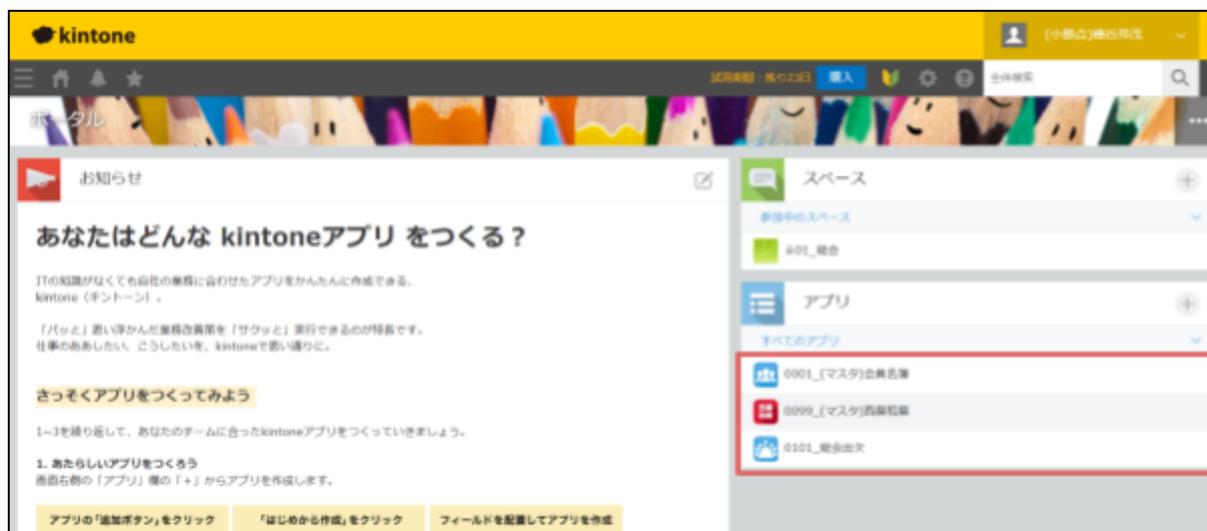
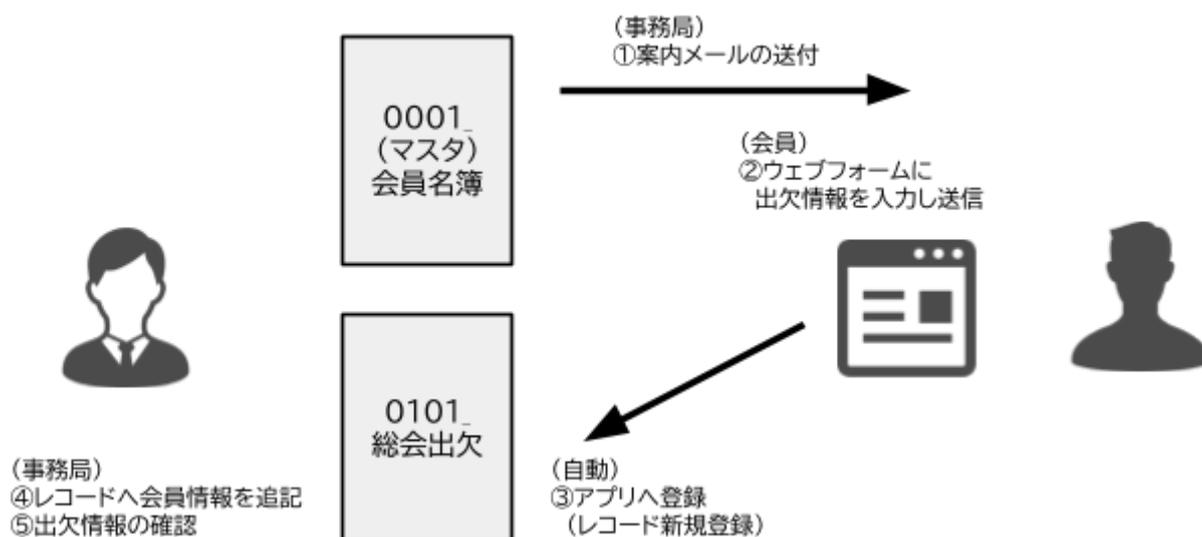
キントーンのアプリ構成は以下の通りです。

アプリ一覧

スペース名	アプリ名	アプリ概要
-	0001_(マスタ)会員名簿	会員情報を管理するデータベースです。 他のアプリで会員情報を利用する際にルックアップして利用することができます。 【KEY】 ・会員番号 ・token
-	0099_(マスタ)西暦和暦	他のアプリで西暦や和暦を使用する際に利用するデータベースです。 他のアプリで西暦や和暦を利用する際にルックアップして利用することができます。 【KEY】 ・西暦
01_総会	0101_総会出欠	会員から届く総会の出欠連絡が記録されるアプリです。

2. 出欠確認手順

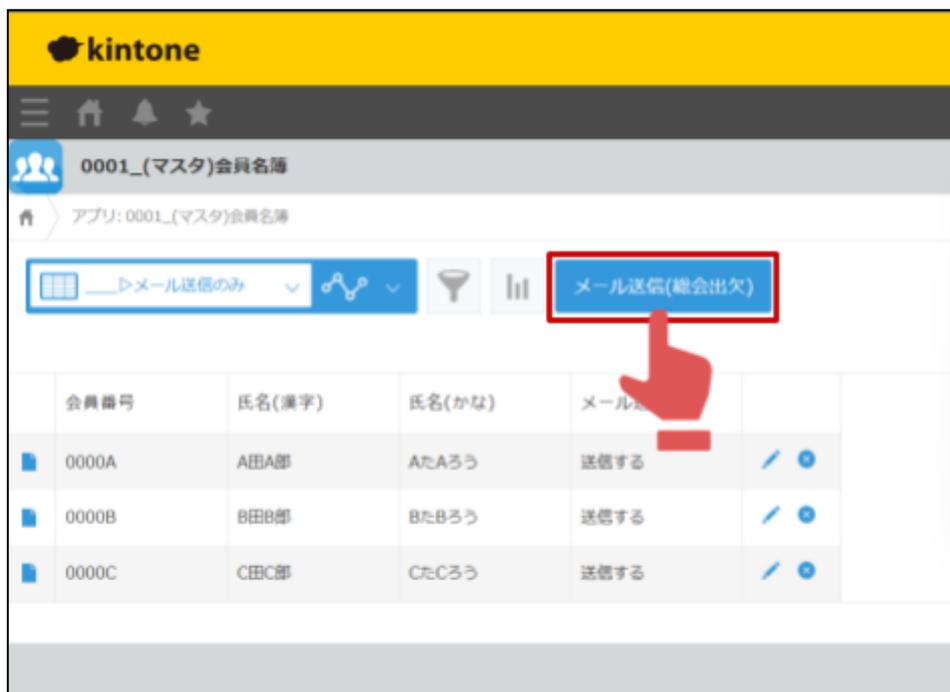
本システムを利用した出欠確認手順を記します。



①(事務局)案内メールの送信

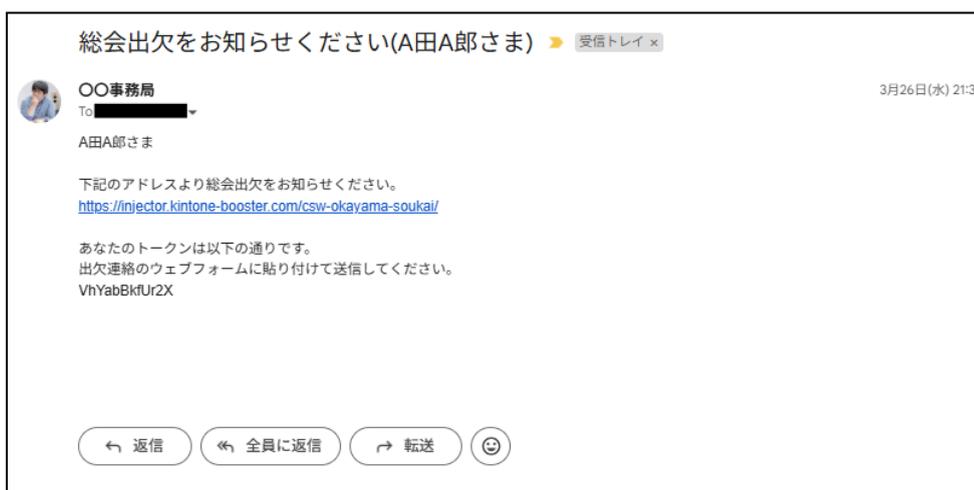
会員名簿アプリで表示される一覧に一斉に案内メールを送信します。

メールを送信するには、一覧右上に表示されるボタン「メール送信(総会出欠)」をクリックしてください。



送信されるメールは下記のような内容になります。

会員には、出欠を入力するウェブフォームのURLと、会員を特定するためのトークン(会員を特定するための値)が記載されています。



②(会員)ウェブフォームに出欠情報を入力し送信

案内メールに記載されたウェブフォームは下のような画面になります。
会員は案内メールに記載されているトークンと、自身の出欠を選択して送信をします。



総会出欠

案内メールに記載されている「トークン」を貼り付けてください。
VhYabBkfUr2X

出欠を選択してください。
出席

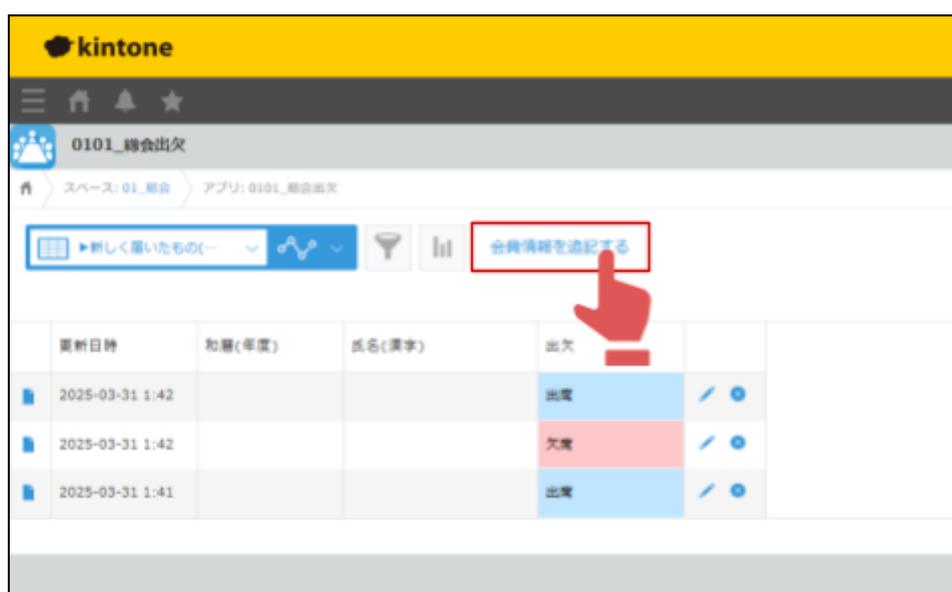
送信

③(自動)アプリへ登録(レコード新規登録)

ウェブフォームから送信された内容は、総会出欠アプリへ自動的に新規レコードとして登録されます。

④(事務局)レコードへ会員情報を追記

会員から自動送信された時点では、会員情報と紐づいていませんので、事務局にて「会員情報を追記する」ボタンをクリックしてください。



kintone

0101_総会出欠

スペース: 01_総会 アプリ: 0101_総会出欠

会員情報を追記する

更新日時	和暦(年度)	氏名(漢字)	出欠	
2025-03-31 1:42			出席	
2025-03-31 1:42			欠席	
2025-03-31 1:41			出席	

⑤(事務局)出欠情報を確認

会員情報が追記されると、会員番号や氏名が確認できるようになります。
これにより、各会員の出欠が確認できるようになります。



The screenshot shows the Kintone interface for the application '0101_総会出欠'. The table displays attendance records for the fiscal year '令和7年度' (Reiwa 7th year). The columns are '和暦(年度)', '会員番号', '氏名(漢字)', and '出欠'. There are three rows of data, each with a blue edit icon and a red delete icon.

和暦(年度)	会員番号	氏名(漢字)	出欠
令和7年度	0000A	A田A郎	出席
令和7年度	0000B	B田B郎	欠席
令和7年度	0000C	C田C郎	出席

また、アプリから自動的に出力されるグラフによって、リアルタイムの出欠状況も確認することができます。

